記者発表資料

平成２７年　７月２２日
青 森 河 川 国 道 事 務 所

一日河川パトロールを実施します！

～下長中学校の科学部員と馬淵川の源流から下流までを調査します～

青森河川国道事務所では、河川愛護月間の啓発活動の一環として、八戸市立下長中学校の科学部員に参加していただき、八戸市内を流れる馬淵川の源流部（岩手県岩手郡葛巻町）、中流部（岩手県二戸市）、下流部（八戸市）の各地点において、パックテストによる水質調査や河川に生息する水生生物を指標とした水質の簡易調査を行い、河川愛護や環境問題への関心を高めることを目的として「一日河川パトロール」を実施します。

◆場所及び日時　平成２７年７月２７日（月）　【予備日:7月30日(木)】
※なお、天候不良や河川の水位の状況により、中止する場合があります。

①　９：４０～１１：００　水生生物調査及び水質調査
馬淵川中流部　（岩手県二戸市石切所字古川地先【二戸大橋上流左岸（馬淵川公園）】）

②１２：１０～１３：２０　水質調査
馬淵川源流部（岩手県岩手郡葛巻町江苅【袖山高原牧場付近】）

③１５：２０～１５：５０　水質調査
馬淵川下流部　（青森県八戸市売市字馬場河原【大橋下流右岸（水辺の楽校）】）

※なお、天候や交通状況等により、多少時間が前後する場合があります。

◆参加校

八戸市立下長中学校科学部員　２１名

※発表記者会　：　青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社

問　い　合　わ　せ　先

国土交通省　東北地方整備局　青森河川国道事務所
青森市中央三丁目２０－３８　（ＴＥＬ０１７－７３４－４５９０（直通））
河川占用調整課長　　高橋　欣哉

国土交通省　東北地方整備局　青森河川国道事務所　八戸出張所
八戸市長苗代二丁目５－８　（ＴＥＬ０１７８－２８－２６２６）
八 戸 出 張 所 長　　向井　清

別紙

行　　程　　表（参考）

７月２７日（月）一日河川パトロール（八戸市立下長中学校）		（予備日：７月３０日）
8:30	八戸市立下長中学校　発 下長中学校：八戸市大字河原木字河原木後77-2 0178-28-2745	
9:40 11:00	二戸市「馬淵川河川公園」着 馬淵川河川公園：岩手県二戸市石切所 二戸市「馬淵川河川公園」発	水生生物調査 水質調査 （中流地点）
12:10 13:20	葛巻町「馬淵川源流」着 馬淵川源流：岩手県九戸郡葛巻町袖山高原付近 葛巻町「馬淵川源流」発	水質調査 （上流地点）
	・途中「道の駅　おりつめ」で休憩 ***・九戸～八戸間は八戸自動車道を利用***	
15:20 15:50	八戸地区水辺の楽校　着 水辺の楽校：八戸市大字売市字馬場河原地内 八戸地区水辺の楽校　発	水質調査 （下流地点）
16:00	八戸市立下長中学校　着・解散	

一日河川パトロール　実施箇所図

◆場所及び日時　平成27年7月27日（月）

① 9:40～11:00　水生生物調査及び水質調査
馬淵川中流部（岩手県二戸市石切所字古川地先【二戸大橋上流左岸（馬淵川公園）】）

②12:10～13:20　水質調査
馬淵川源流部（岩手県岩手郡葛巻町江苅【袖山高原牧場付近】）

③15:20～15:50　水質調査
馬淵川下流部（青森県八戸市売市字馬場河原【大橋下流右岸（水辺の楽校）】）



広域図

① 馬淵川中流部（岩手県二戸市石切所字古川地先【二戸大橋上流左岸（馬淵川公園）】）



②馬淵川源流部（岩手県岩手郡葛巻町江苅【袖山高原牧場付近】）



③馬淵川下流部（青森県八戸市売市字馬場河原【大橋下流右岸（水辺の楽校）】）



川の生きものを調べよう

水生生物による水質判定

Ⅰ きれいな水





耳状のとがった突起

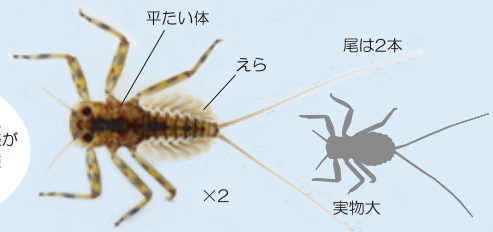


また、体に模様があるのも外来種

外来種
アメリカツノウズムシ＊

ナミウズムシ

石の表面にはりついていて、伸び縮みする
中・下流部には外来種がいることがある



ヒラタカゲロウ類

流れの速い石の表面にはりついている





カワゲラ類

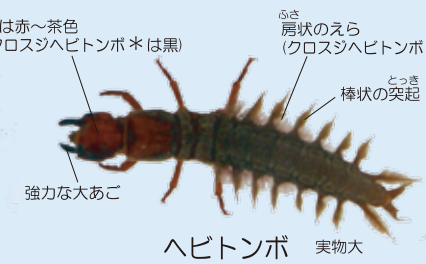
体ががんじょうな感じがする
石の下やすき間にいる



頭は赤～茶色
（クロスジヘビトンボ＊は黒）

サワガニ

体色は赤色、茶色、青白色のものがいるが、
同じ種類である



ヘビトンボ

流れの速い石の下にひそんでいて、
えものをおそう



ブユ類

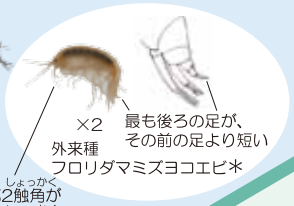
急流の岩や石に吸盤ではりついている
集団をつくり、石が黒く見えることもある



アミカ類

腹面に吸盤があり、急流の岩や石に
はりついている

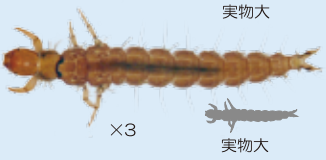




ヨコエビ類

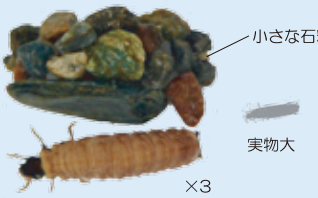
上流の石の下や水中に
たまった落葉の間にいる





ナガレトビケラ類

流れの速いところにいる



ヤマトビケラ類

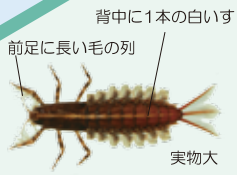
流れの少しゆるやかなところの石面に多い



タニガワカゲロウ類

体はヒラタカゲロウ類に似ている
流れの速いところにいる

Ⅰ，Ⅱ両方でみられる水生生物
（指標種ではない）



チラカゲロウ

流れのやや速いところにいる

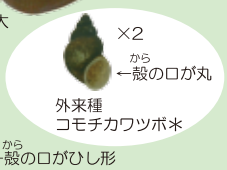


ヒゲナガカワトビケラ類

流れの速い石の間に網をはってえさを集める
体色は茶～黒色

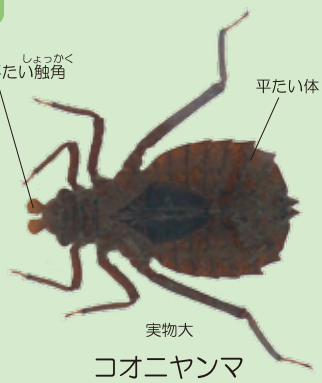
Ⅱ ややきれいな水





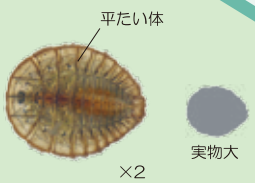
カワニナ類

流れの少しゆるやかなところにいる
外来種のコモチカワツボ＊は数mmと小型



コオニヤンマ

流れが少しゆるやかなところにいる



ヒラタドロムシ類

石の表面にはりついている



ニンギョウトビケラ類

流れが少しゆるやかなところ
の石面にいる



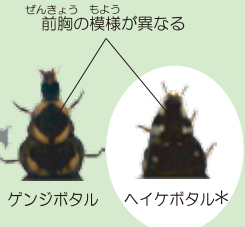
コガタシマトビケラ類

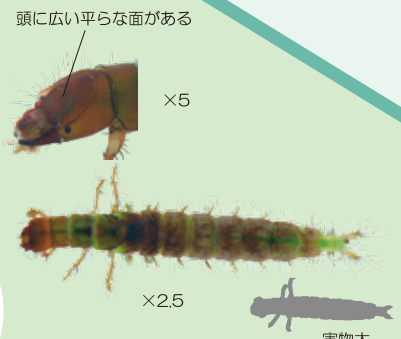
頭部の前縁に浅い凹みがある



ゲンジボタル

流れが少しゆるやかなところにいる
カワニナをえさとする



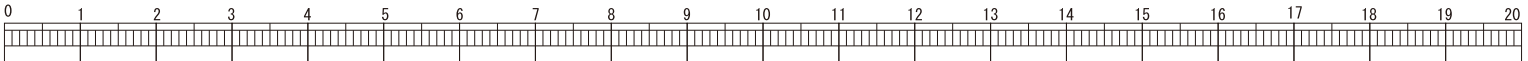


オオシマトビケラ

流れが少し速いところにいる

＊のついている生物はよく似ていますが指標種（水質判定に使う水生生物）ではありません。

平成23年度版



Ⅲ きたない水



ミズムシ

落葉のあるところではきれいな水にもいる



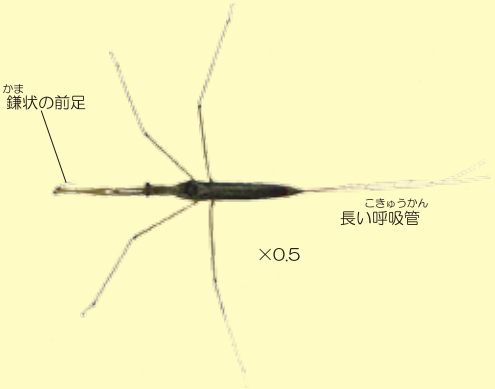
シマイシビル

背中に縦縞模様がある
伸びたり縮んだりする
尾の先に吸盤がある



タニシ類

流れのゆるやかなところにいる



ミズカマキリ

川では川岸の草の中などにいる

Ⅳ とてもきたない水



エラミミズ

尾部にえらがある
流れのゆるやかなところにいる



サカマキガイ

多くの巻貝と違い、左巻き
流れのゆるやかなところにいる



アメリカザリガニ

北アメリカ原産の外来種
流れのゆるやかなところにいる



ユスリカ類

腹部に2対（4本）または1対（2本）のひも状のえらがある
瀬でみられる赤いユスリカはセスジユスリカやハイイロユスリカが多い



チョウバエ類

尾部、腹部背面にかたい部分（キチン板）がある

汽水域（海水が混じっているところ）

Ⅱ ややきれいな水





イシマキガイ

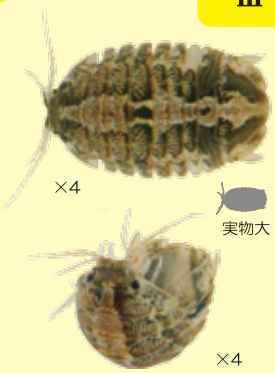
石や護岸にはりついている
淡水域にいることもある



ヤマトシジミ

砂や泥の中にいる
淡水域にはマシジミ＊や外来種のタイワンシジミ＊がいる

Ⅲ きたない水



イソコツブムシ類

石の下にいる
さわると丸くなる



ニホンドロソコエビ

泥の上や中にいる
河川の上・中流部にも淡水性のヨコエビ類がいる

＊のついている生物はよく似ていますが指標種（水質判定に使う水生生物）ではありません。

